

〈東北・新潟の活性化応援プログラム〉 2023年 助成団体活動成果レポート

ソーシャルビジネス部門

優秀賞

株式会社アウトクropp

秋田県秋田市

プロジェクト名

複合拠点「DELTA」の新設

■地域の課題

地域の止まらない人口減少や都市部への「ヒト、モノ、コト」の一極集中が課題とされる昨今、地方都市で発足したクリエイティブカンパニーとして、私たちは「ものづくりや人の交流を起点として地域に新しい流れを生み出していくような拠点を作ろう」と考えました。

■当団体の紹介

映像制作会社として、地域に根差した活動を展開。空きアパートを改装し、シェアオフィス・コワーキングスペース・宿泊施設・カフェ等で構成された複合拠点を新設・運営することで、クリエイターが技術や体験を活かせる仕事場と快適な滞在場所を提供しています。さらに、当施設をクリエイターと地域が交流・共創する拠点とすることで、特色あるコミュニティづくりを目指しています。



■背景・目的は？

四階建てのマンションをリノベーションし、カフェ、滞在施設、ワークスペースを整備。イベント開催や宿泊事業を起点とした関係人口の創出を目指し、都市部に集中してしまっているクリエイティブ産業へ従事する県内外の人々の横のつながりを作ることができるような場所になりたいという意図がありました。

■具体的な活動は？

弊施設は2024年5月25日にオープンしました。オープニング期間に合わせたイベント開催を皮切りに、これまでカフェ、宿泊、ワークスペースの運営を基盤としながら活動を続けています。

カフェでは、地域の食材(特産品や地場野菜)を多く取り入れたメニューを提供し、地域のロースタリーと連携して自家焙煎のコーヒーを提供しています。宿泊エリアは県内外や国内外のお客さまにご利用いただく要の機能を担っており、特に夏～秋の観光シーズンには多くの方々にご利用いただきました。今後も、宿泊機能を通じた関係人口の創出や地域への滞在のきっかけづくり、さらにシェアハウス機能の充実を構想しています。

また、四階には私たちアウトクロップの事務所を構え、五つの事業者様がレンタルオフィスにご入居いただいています。すでに業種を超えた協業・共創が生まれており、教育、移住、起業などに関するイベントも多く開催されています。

【主なメディア掲載】

秋田魁新報様、秋田タウン情報様に継続的な情報掲載をいただいております。

- オープンの際の記事(秋田魁新報)
- トークイベントの際の記事(秋田魁新報)
- 起業家イベントの記事(秋田魁新報)
- 教育事業に関する記事(秋田魁新報)
- 施設機能の紹介(秋田タウン情報)



施設外観



カフェ外観



フロンブース(個室スペース)



ミーティングルーム

■活動の成果は？

地域との関わりという点では、起業関連のイベントや移住促進に関するイベントの会場として弊施設を活用いただいたことや、大学の講義会場としての活用、さらに弊社が関わる映像制作を通じた大学生向け教育事業の会場としての活用などが挙げられます。

また、地域の方々とのやりとりの中から生まれた「屋上での花火鑑賞会」や、弊社スタッフによる多文化交流の場「English Cafe」の開催なども複数回にわたって実施されました。

今回のプロジェクトは「複合施設の立ち上げ」を伴うものであり、内装・外装のリノベーションや設備・備品への投資など、大きな費用がかかるものとなりました。助成金という形でサポートをいただけたことに大変感謝しています。

購入した家具や備品はイベント開催時に活用させていただいているほか、日々ワークスペースをご利用いただく方々にも役立っています。施設立ち上げの際にはオープン前までにまとまった金額の投資が必要でしたが、助成金を活用して設備・備品を整えることができたことで、無事にスタートダッシュを切ることができました。



シアタースイートルーム



セミダブルルーム



ドミトリールーム



バスルーム

団体からのコメント

カフェ機能、宿泊機能、ワークスペース機能、それぞれの可能性を最大化し、より大きなシナジーを生み出したいです。また、弊社が得意とする映像制作事業や広告業、ミニシアター事業との連携によって、さらに大きな可能性を生み出せると考えています。

現状での大きな課題は広報です。弊プロジェクトには広報を専門に担当する人員が不在であり、積極的な広報活動や分析、活動アーカイブなどが十分にできていない現状があります。財務面では、カフェ・宿泊事業が季節や天候に左右されやすいこと、またワークスペースの利用に関する認知が広がっていないことが課題として挙げられます。

館内機能の紹介パンフレットを作成すること（料金表などを含む）や、広報活動（SNS、ハガキ発送、チラシ・ポスター活用、広告運用）の強化、さらにチーム内リソースの配分を進めることが、弊施設の機能を広く知っていただくために必要不可欠なアクションであると考えています。

また、コワーキングスペースや宿泊設備の利用を通じて人々の交流や関係人口の創出を促進するようなデザインを作り上げたいと考えています。財政面での安定を図るとともに、「DELTAがなかったら生まれなかった企て」が継続的に生じていくことを次の目標としています。